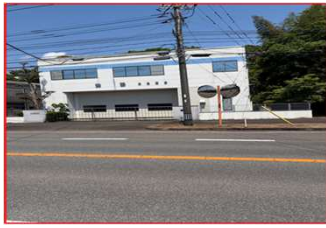


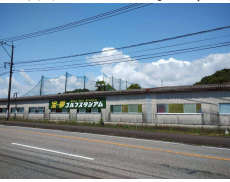
都農町地域資源マップ

5班 芝田実歩 山崎理帆 片山つぐみ 矢野雅也 安喰巧



⑥有限会社 信商

宮崎県を拠点とする企業。同社は「焼き鳥のぶや」を経営し、主に鶏の生産と食肉加工を手掛けている。焼き鳥販売事業、肉加工事業、鶏肉産事業の3つの業務を展開し、飲食・食品、食肉、居酒屋、和食という業界で幅広く活動している。（安喰）



⑨宝夢ゴルフスタジアム

ゴルフだけでなく館内にサウナやリラクゼーションサロンがあるため、リフレッシュやリラックスする場として最適。（山崎）



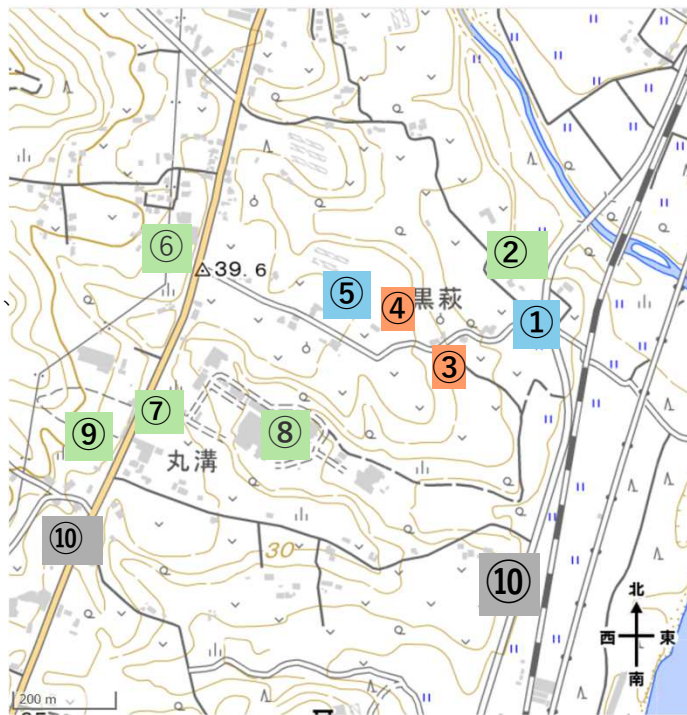
⑦弁当屋あやない

平日の11時～13時のみ営業
日向市にも店舗がある。
名物はチキン南蛮
周りに飲食店がないため
需要が高そう(片山)



⑤九州ファーム

津波避難場所となっていたが、広場があるだけだったため、設備を整える必要がある。海が近く、周りに家が多くあったため、沢山の人が避難してくると考えられる。（山崎）



⑧株式会社ミヤチク

都農工場は、宮崎県産牛や豚肉の加工販売を行う「ミヤチク」の発足の地であり、長きに渡って食肉の世界輸出へ貢献してきた。平成31年に国内最新鋭の食肉処理施設と、さらなる輸出拡大を目指し、新都農工場として生まれ変わり、今後さらなる宮崎ブランドとしての屋台骨を支えることが期待されている。（安喰）



①津波注意の看板

海拔12m
この地域は沿岸から467mしか離れていないため、高さ3~5mほどの津波は被害が出る。（片山）

②黒丸公民館

まだ新しいであろう防災倉庫が設置されている。公民館前には予約制のコミュニティバス停がある（前日までの予約が必要）
周辺には子育て世代から高齢者など様々な年代の人が住んでいる。（芝田）



③交通事故注意

道の先の情報がほとんど得られない。傾斜が激しくて急ブレーキが難しい。注意が必要。（矢野）



④断線注意

電線が木に引っかかっている。地震や台風などがあったとき倒木による断線の恐れあり。（矢野）

⑩国道・県道

「国道10号線」

道路沿いに工場が立ち並ぶため、原料や加工品を運搬するためのトラックの交通が特に多い。道幅は広く、歩道も整備されていた。（芝田）

「県道302号線」

軽トラックや一般車の交通量が多い。高齢者も運転していた。歩道は狭く、ブロックなどで仕切られていないため、歩いている時はとても危険を感じた。また、私たち以外に歩行者を見かけなかったことから、車社会を強く感じる場面でもあった。（芝田）

コメント

バスが前日までの予約制であることや歩道が整備されていないこと、歩行者を見かけなかったから地域に車社会が浸透していると感じた。国道は特にトラックの交通が多かったため、駐車場の広い休憩所やコンビニを設置すると利用客が多く、繁盛するのではないかなと思う。（芝田）

路側帯は手入れされておらず、雑草が生えっぱなしだったので夏に訪れる際は長ズボンなどをはいて虫の対策をすると良いと思った。（矢野）

海拔は坂っぱいところだったので、12mが妥当なのかなと思った。近くにも津波の避難場所があったので津波の対策はしっかりされていると感じた。飲食店はなくてもお弁当屋さんがあったのでいいと思った。（片山）

海が近く自然に囲まれているからこそ、災害時の備えが重要であり、私たちの区域はより設備を整えるべきだと思った。人口減少、高齢化が進む中で娯楽施設があることは健康促進にもつながっていると考えた。（山崎）

廃墟や閉店した店を度々目にし、過疎化が深刻だということを身をもって感じた。
都農町は自然豊かな地域なので、今ある資源を大切にしていこうべきだと感じた。（安喰）

